

株主のみなさまへ
..... Vol.59

株主通信 第118期中間期
2024年1月1日～2024年6月30日



SHIMANO

表紙:鹿児島南薩のフィッシング

SHIMANO



代表取締役社長

島野泰三

事業の経過および成果

当中間連結会計期間におきましては、引き続き、欧米を中心とした金融の引き締め政策、ウクライナ・中東情勢の緊迫化による地政学リスクや中国経済の停滞等が、足許の景気を下押しする要因とはなったものの、世界経済は緩やかな回復基調となりました。

欧州では、雇用環境の改善が進むにつれ個人消費も緩やかに回復し、景況感にも回復の兆しが見え始めました。

米国では、金融の引き締め政策が続くなか、良好な雇用環境が個人消費を下支えし、景気は堅調に推移しました。

中国では、不動産市場の長期的な低迷と個人消費の鈍化により、景気は力強さを欠きました。

日本では、所得政策の実施に加えて雇用環境に持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当中間連結会計期間における売上高は216,887百万円（前年同期比17.6%減）、営業利益は30,955百万円（前年同期比42.6%減）、経常利益は55,625百万円（前年同期比18.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は43,704百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

自転車部門

長期的なトレンドとして、自転車への高い関心が続くなか、完成車の需給調整が継続し、世界的な市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場においては、欧州市場では、主要市場であるドイツやベネルクス諸国での店頭販売は底堅く推移した一方で、その他の国では完成車の需要回復の遅れから、販売は弱含みとなり、市場在庫は高めで推移しました。

北米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、完成車の店頭販売は軟調となり、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。

アジア・オセアニア・中南米市場では、インフレの高進や経済の不確実性から個人消費が低迷し、完成車の店頭販売は低調となり、市場在庫は高い水準で推移しました。中国市場では、ロードバイク人気の継続により、完成車の店頭販売は好調に推移し、市場在庫は適正レベルを維持しました。

日本市場においては、円安による完成車価格の高騰から店頭販売は低調となり、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、「105」をはじめとするロードバイク向けコンポーネントに対する需要は堅調に推移しました。また、グラベル専用コンポーネント「SHIMANO GRX」などの製品をご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は162,594百万円（前年同期比20.7%減）、営業利益は24,328百万円（前年同期比42.2%減）となりました。

釣具

世界的に加熱気味であった釣具の需要が落ち着くなか、販売は弱含みで推移した一方で、市場在庫の調整には進展の動きが見え始めました。

日本市場においては、市場在庫の調整が継続するなかで販売は力強さを欠きました。

海外市場においては、北米市場では、ソルトウォーター向けの製品の需要は底堅く、良好な天候にも支えられ、販売は好調に推移し、市場在庫は適正化に向かいました。

欧州市場では、市場在庫の調整が継続し、販売は弱含みとなりました。

アジア市場では、低迷する景気の影響を受け消費者マインドが冷え込み、市場在庫は高めに推移し、販売は軟調でした。

豪州市場では、安定した天候から釣行も活況となり、市場在庫は適正水準を維持し、販売は堅調に推移しました。

このような市況の下、新製品のペイトリール「METANIUM DC」、新製品のスピニングリール「TWIN POWER」、新製品のロッド「POISON ADRENA」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は54,069百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は6,651百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

その他

当セグメントの売上高は222百万円（前年同期比5.6%減）、営業損失は24百万円（前年同期は営業損失28百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

2024年12月期の第2四半期末配当金は、株主還元の一層の強化を念頭に、当社の財務状況および通期の業績予想を踏まえ、前回予想から12円増配の1株当たり154円50銭とさせていただきました。また、期末配当金も同じく1株当たり12円増配の154円50銭とし、これにより、当期の年間配当予想額を24円増配の1株当たり309円を予定しております。

今後の見通し

通期連結業績予想につきましては、ロードバイクを中心とするスポーツバイク人気が継続した中国市場において、販売が好調に推移した結果、当第2四半期（中間期）連結会計期間の業績が前回発表予想を上回った一方で、依然として市場在庫が高い水準で推移していること、欧州市場の春商戦における天候不順もあり市場在庫滞留の解消に遅れが見込まれる等、先行き不透明な状況が今後も継続する見通しであります。以上を踏まえ、下表とのおり業績予想を修正いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年9月

2024年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)	経常利益 (単位：百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)	1株当たり当期純利益 (単位：円)
前回発表予想 (A)	420,000	56,800	86,800	66,300	738.59
今回修正予想 (B)	450,000	66,000	100,000	77,000	862.01
増減額 (B)-(A)	30,000	9,200	13,200	10,700	
増減率 (%)	7.1	16.2	15.2	16.1	
前期実績 (2023年12月期)	474,362	83,653	103,369	61,142	676.77

自転車部品事業

自由なスタイルで
走る楽しさを
再発見する



グラベル専用ブランド「GRX」に 2×12速の電動変速機 「Di2」搭載モデルが追加

ロードやマウンテンと並び、高い人気を誇るグラベル。2014年頃にアメリカ・カンザス州で生まれたとされる、比較的新しいカテゴリのひとつです。車やトラックの往来が激しい舗装路を離れ、より自由なライディングを楽しみたい——そんな思いを持つ人々のあいだで広がりを見せ、ムーブメントとなりました。シマノでは2019年に当社初のグラベル専用ブランド「GRX」を発表。昨年登場した12速の機械式変速モデルにつづき、今年登場したのが12速の電動変速機「Di2」搭載モデルです。

スイッチひとつで変速を可能にするDi2は、GRXの性能向上にも大きく寄与しています。ブラケットを握ったままアクセスできるスイッチ配置により、サイクルコンピューターの画面送りやライト点灯など変速以外の操作もスムーズに行えるようになりました。

さらに新機能である「フロント・シフト・ネクスト」では、変速切り替えに当てられていた2つのボタンをひとつに集約することで、残りのスイッチにほかの操作を割り当てられるようになりました。ライダー自身の好みに合わせた操作環境をつくりだすカスタマイズ性は、Di2の恩恵でもあります。また、今回のモデルではブラケット周辺にもグラベルに最適化した改良が施されています。長時間の操作による手の負担を抑えるため、ハンドル部分は丸みのある形状に改良し、グラベルで主流となっているハの字型の「フレアハンドル」に合わせた細かな調整を行いました。

そのほかグリップ性能やアンチスリップ性能も高めることで、悪路や雨天時でも安心して走行できるスペックを誇っています。



「REBOUND」で “ふたたび”ひとつに 走る喜びを世界中で分かちあう

グラベルを語るうえで欠かせないのが、毎年6月にカンザスで開催される世界最高峰のレースイベント「アンバウンド・グラベル」です。グラベラー憧れの場として絶大な人気を誇り、世界各地から多くの参加者が訪れています。そんな世界的なレースもコロナウイルス感染拡大時には煽りを受け、参加を断念するライダーも少なくありませんでした。それぞれの住む場所でも走る楽しさを感じ続けてほしい、そんな思いから2023年にスタートしたのが、シマノも協賛する「REBOUND」キャンペーンです。内容はアンバウンドのレース開始とともに全世界のライダーたちが同じ距離を走り、その足跡をサイクリングトラッキングアプリ「STRAVA」に投稿するというものです。2024年度は約36万人が参加し、累計距離は450万マイル（およそ地球約180周分）に到達しました。



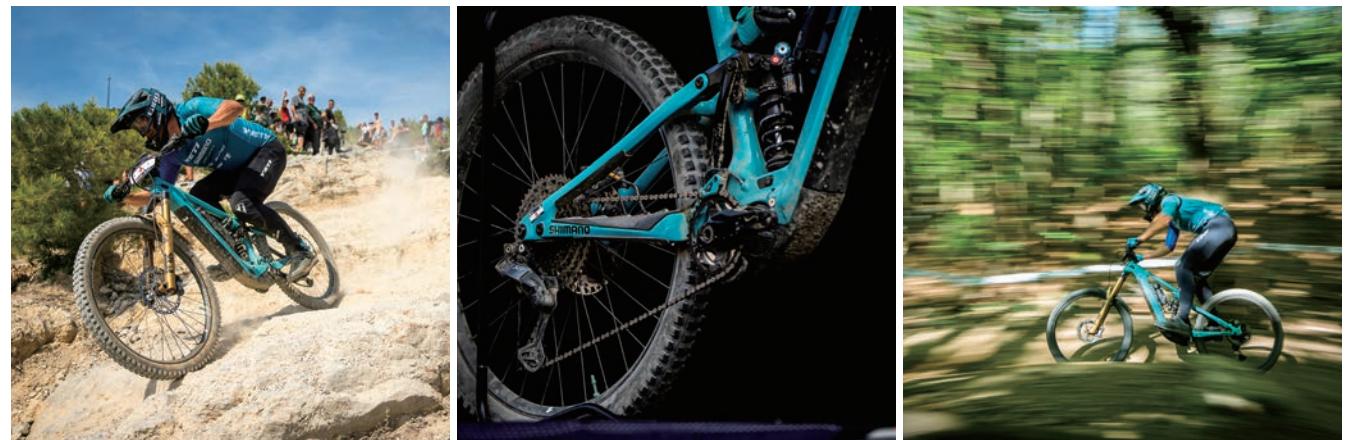
離れた地にいても同じときを共有することで、世界中のライダーたちがつながり、走る喜びを分かちあう場となりました。

「自由に走りたい」という思いから生まれたグラベル。そのコンセプトのとおり、舗装路や未舗装路など、道を問わざるライダーの行きたい場所へと連れ出してくれます。走る道にも服装にもルールはない。その気まで境界をつくらないスタイルが、多くの人を惹き付ける理由かもしれません。純粋な「走る楽しさ」を再発見させてくれるグラベルを多くの人に楽しんでもらうため、これからもモノ・コトの両面からその魅力を伝えていきます。

YETI / SHIMANO EP RACING TEAM が発足以来の初優勝 E-ENDURO ワールドカップ2024



優勝を果たしたライアン・ギルクリスト選手(写真中央)



今回大会でライアン・ギルクリスト選手が使用した、シマノのドライブユニットEP801搭載のEバイク「YETI 160E」。

釣具事業

コンセプトは「アングラーの意のままに」 高感度・軽量ボディが導き出す優れた操作性



釣り文化を永く残すために －「魚と人」シリーズ－

2024年4月、YouTubeの「SHIMANO TV公式チャンネル」にて、ドキュメンタリー動画「魚と人～ツナグ命～」を公開しました。石徹白(いとしろ)川で行われている渓流魚の保全活動を1年以上かけて取材し、その模様を語り部である釣り人の言葉とともに紹介しました。地域の活動によって守られる命のつながりや尊さを紹介することで、「釣り」という素晴らしい文化や魅力を再認識していただき、次の世代へとつないでいくことをめざした本動画。釣りに関わる企業として、自然や釣り文化を守るためにできることを、今後も考え続けてまいります。

VANFORD

2024年、汎用型スピニングリール「ヴァンフォード」がフルモデルチェンジしました。手に取りやすい価格帯ながら高い性能を誇るヴァンフォードは、感度と軽さが最大の特徴。軽量なマグナムライトローターが搭載されていることで渓流釣りやバス釣りなど、繊細な操作性が求められる釣りにおいて活躍するリールです。

今回の新型モデルは、フラッグシップモデルの「ステラ」に搭載された機構が採用されたことにより、前モデルの感度・軽量性を引き継ぎながらもさまざまな実釣性能を向上させています。魚を確実に釣り上げるうえで重要なドラグは、大型魚にも対応しうる実力を発揮。アンチツイストフィンの採用により、ライントラブルを抑制し、より快適な釣りをお楽しみいただけるようになりました。

新型ヴァンフォードのコンセプトである「FAST FORWARD」。その言葉には「意のままに操る」という想いも込められています。進化した感度と軽さ、操作性で、より快適な釣り体験を提供してまいります。





シマノトリコロール プロジェクト

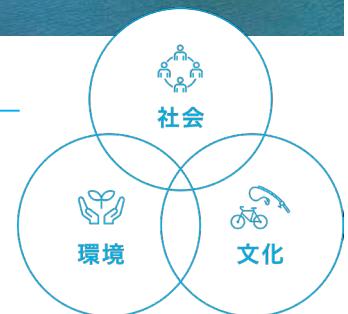
シマノトリコロール プロジェクトでは、
「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する」
という当社のミッションに則り、環境・社会・文化というテーマで
持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みを継続してまいります。

プロジェクトニュース

環境

「長続きする」資源循環をめざして

シマノは資源循環を促進する取り組みとして、社内物流で使われる資材の再活用を進めています。プラスチック製のパレットなどは、付着したオイルなどの汚れを専用洗浄機によって取り除き、できる限りライフサイクルを長くし、リユースに努めています。物流用プラスチックコンテナのうち、使用できなくなったものは製造元の業者様に有価で引き取っていただくことで、100%クローズドマテリアルリサイクルを実現しています。部品納品時に使用される樹脂トレイは再生市場に回すことで、形を変えた製品となって広く再資源化されています。一時的ではない持続可能な活動、すなわち「長続ける」資源循環をめざしながら、社会貢献および企業価値向上にも努めてまいります。



- ①汚れたものは洗浄し、できる限りリユースします。社内で使えなくなったパレットはリユース市場へ。
- ②樹脂トレイは素材ごとに選別し、ある程度の量を確保したのち、リサイクル業者様の元へ。
- ③引き取られたコンテナは粉碎処理され、素材として再利用されます。

価値創造企業を実現する「ひとづくり」を 社内大学「SHIMANO CAMPUS」

2022年3月、当社にて“開校”した「SHIMANO CAMPUS (シマノキャンパス)」。バーチャル (Web) とリアルを通じた新たな「知」との出会いをきっかけに、社員一人ひとりが自律的な成長を遂げるための学びの場です。

テーマは“知の創造”

SHIMANO CAMPUSには、二つの学部が設置されています。シマノの一員として必要な行動特性を学ぶ「Team Shimano (チームシマノ) 学部」では当社に受け継がれる歴史や志を、専門知識を学ぶ「Innovation (イノベーション) 学部」では部署ごとに特化した技術やノウハウを身に付けることができます。学びの場はバーチャル (Web) とリアルの両軸で展開し、さまざまな体験や社員とのつながりによって“知の創造”を促すことをめざします。2023年3月には、海外拠点でのバーチャルコンテンツもスタート。



社員に寄り添った企画も順次進めています。社員一人ひとりが会社への理解を深めることは、「価値創造企業」の実現をめざす当社にとって重要な投資のひとつでもあります。今後もこころ躍る製品を生み出す“ひとづくり”をグローバルに展開してまいります。

— SHIMANO CAMPUS 4つの機能 —



ライブラリー

社員が自由に利用できる社内図書館。幅広いジャンルの書籍を700冊以上取り揃えております。



オーディトリアム

歴代社長のストーリーや製品誕生秘話を学ぶ映像コンテンツ。当時を知る社員による「語り部セッション」も人気です。



プラザ

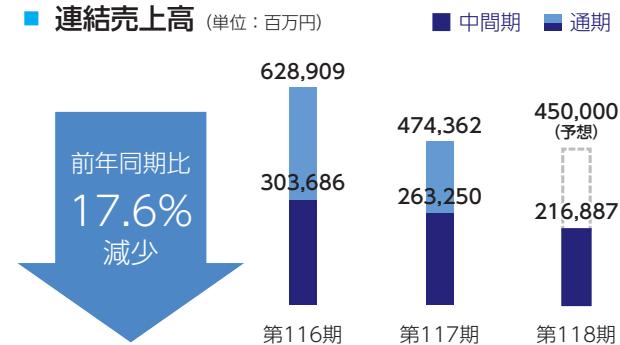
若手社員らがトップマネジメントを囲み、自由に質問や議論を交わしながら会社への理解を深める場です。



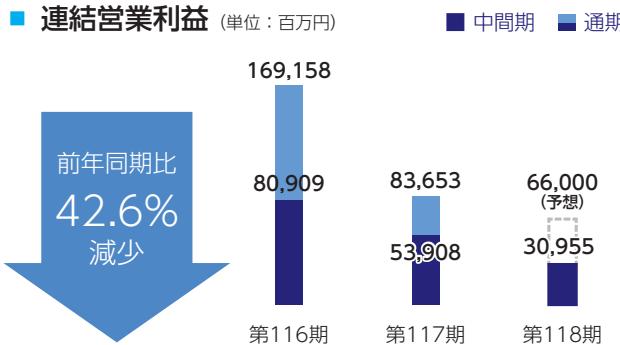
フィールド

当社の主催イベントでスタッフ業務に従事しながら、製品が実際に使われる現場を社員自ら体感します。

■ 連結売上高 (単位:百万円)



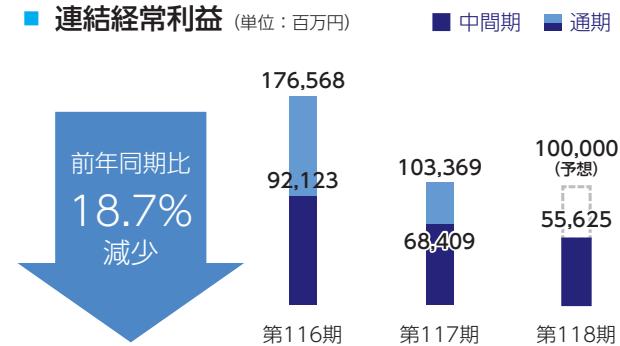
■ 連結営業利益 (単位:百万円)



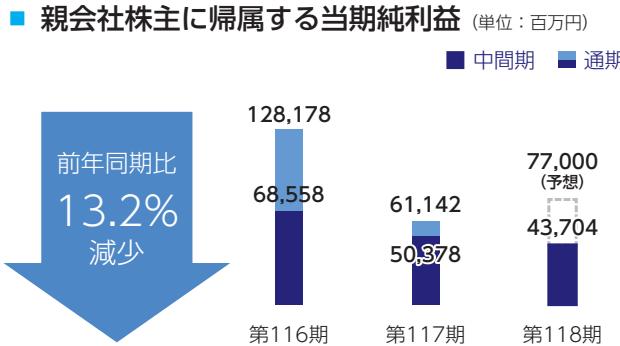
■ セグメント別の売上高と営業利益の状況

第118期 中間期	売上高 (単位:百万円)	増減率 (前年同期比)	営業利益 (単位:百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	162,594	△ 20.7%	24,328	△ 42.2%
釣具	54,069	△ 6.8%	6,651	△ 43.8%
その他	222	△ 5.6%	△ 24	—%

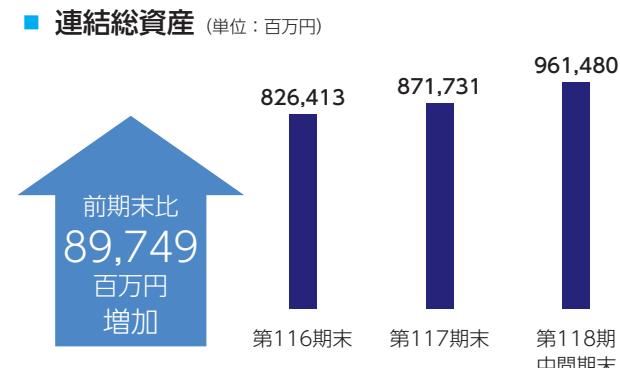
■ 連結経常利益 (単位:百万円)



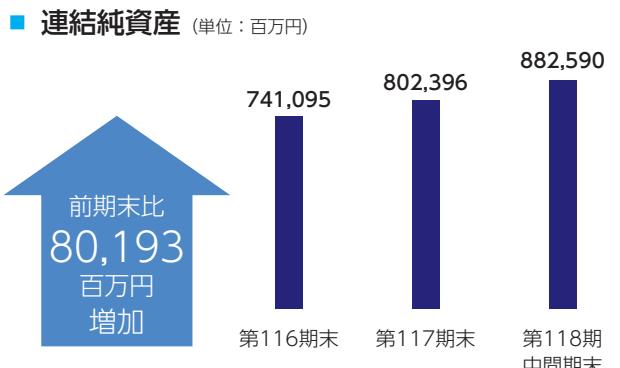
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



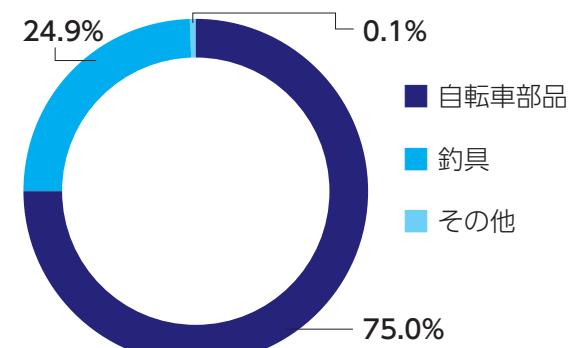
■ 連結総資産 (単位:百万円)



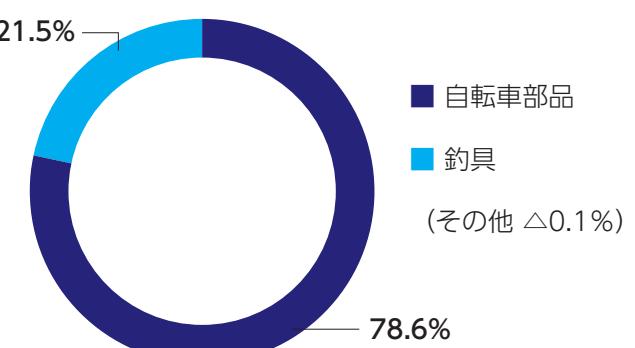
■ 連結純資産 (単位:百万円)



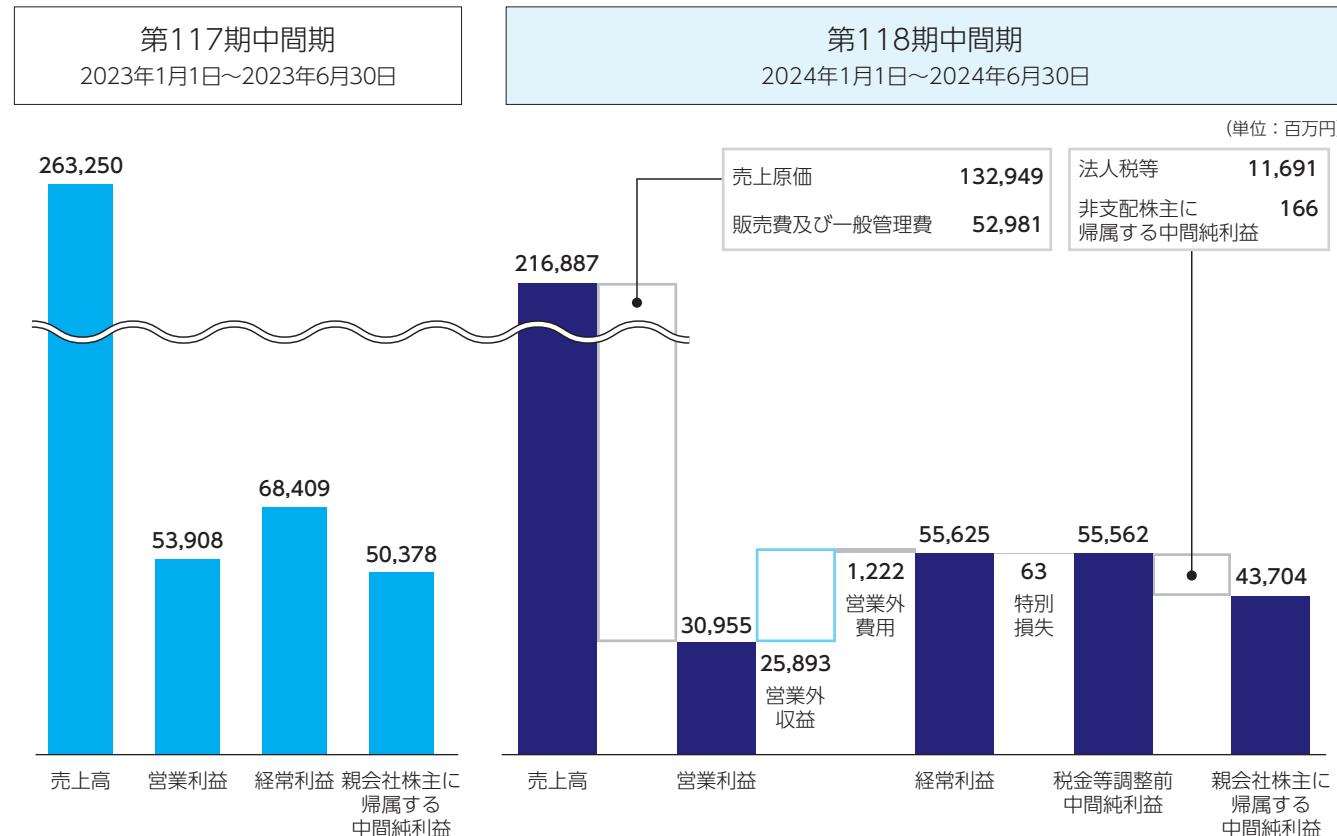
■ セグメント別の売上高比率(第118期中間期)



■ セグメント別の営業利益比率(第118期中間期)



■ 連結損益計算書（要約）



第118期予想（連結）

業績予想		セグメント別売上高予想	
売上高	4,500億円	前年同期比	5.1%減
経常利益	1,000億円	前年同期比	3.3%減
親会社株主に帰属する 当期純利益	770億円	前年同期比	25.9%増
自転車部品	3,480億円	前年同期比	4.6%減
釣具	1,015億円	前年同期比	7.1%減
その他	5億円	前年同期比	9.2%増

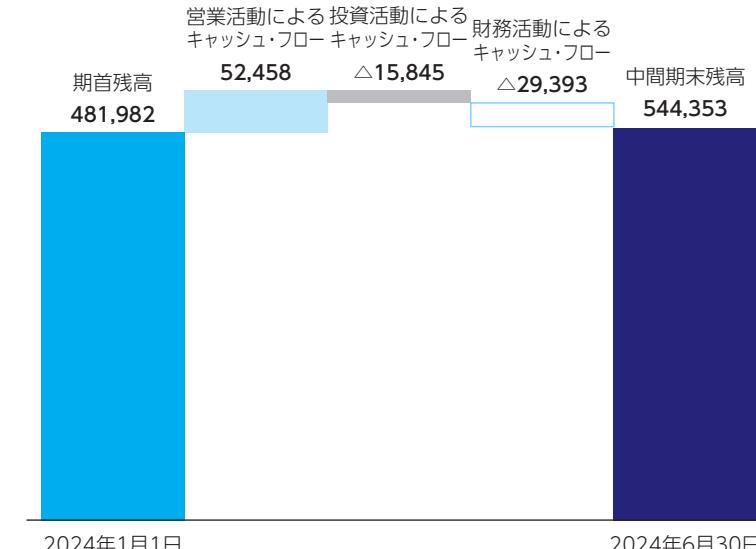
■ 連結貸借対照表（要約）

第118期中間期末
2024年6月30日現在
(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

第118期中間期
2024年1月1日～2024年6月30日
(単位：百万円)

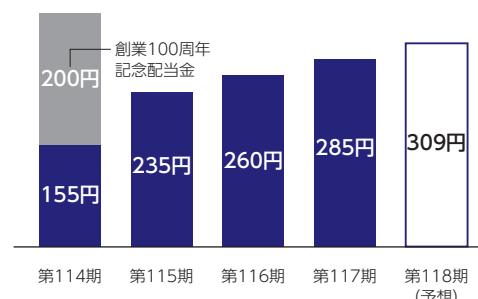


（注）現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。
それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

年間配当金の推移

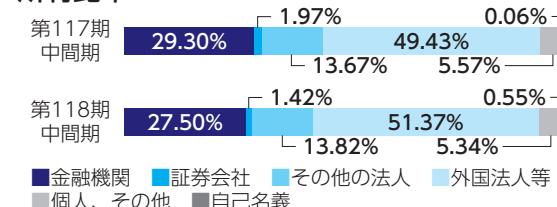
第118期の第2四半期末配当金は、前年同期から12円増配の1株当たり154円50銭とし、年間配当予定額は、当期末の配当を154円50銭として1株当たり309円を予定しております。

株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、今後も安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行ってまいります。



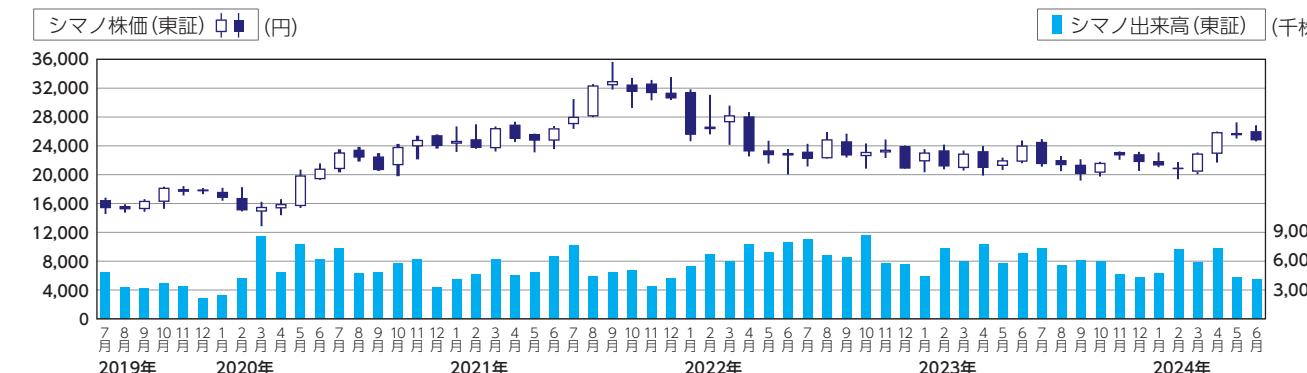
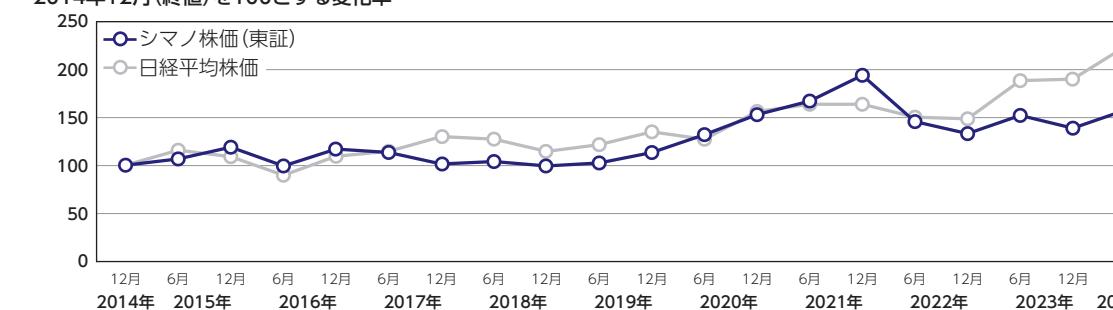
■ 発行可能株式総数	262,400,000株
■ 発行済株式の総数	89,822,000株
■ 株主数	8,512名
■ 単元株式数	100株

所有比率



株価チャート

2014年12月(終値)を100とする変化率



大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,710	11.99
湊興産株式会社	7,864	8.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,716	5.28
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,714	4.16
株式会社スリーエス	2,171	2.43
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,027	2.27
日本生命保険相互会社	1,801	2.02
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	1,466	1.64
株式会社りそな銀行	1,411	1.58
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,390	1.56

(注) 持株比率は自己株式(495,764株)を控除して計算しております。

社名 株式会社シマノ

英文社名 SHIMANO INC.

創業年月 1921年2月

設立年月 1940年1月

資本金 35,613百万円

事業内容 自転車部品、釣具、
ロウイング関連用品等の製造販売本社 〒590-8577
大阪府堺市堺区老松町3丁77番地URL <https://www.shimano.com>

役員

代表取締役会長兼CEO	島野容三	上席執行役員	清谷欣司
代表取締役社長	島野泰三	執行役員	大津智弘
代表取締役副社長	豊嶋敬	執行役員	大竹正浩
代表取締役副社長	津崎祥博	執行役員	金井琢磨
常務取締役	チアチンセン	執行役員	中野敬介
社外取締役	一條和生	執行役員	赤川満
社外取締役	勝丸充啓	執行役員	島野豪三
社外取締役	榎原定征	執行役員	島野勇三
社外取締役	和田浩美	執行役員	能勢佳孝
常勤監査役	樽谷潔		
常勤監査役	吉本昌義		
社外監査役	野末佳奈子		
社外監査役	橋本敏彦		

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定期株主総会 3月

基準日 期末配当金 每年12月31日

中間配当金 每年 6月30日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

当社のホームページに掲載いたします。
(<https://www.shimano.com/jp/ir/electronic.html>) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部電話照会先 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)ホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>よくあるご質問 (FAQ) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

証券コード 7309